

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

児童質問紙調査結果
データベース
(小学校)
(義務教育学校前期課程)

大阪市教育委員会

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における野中小学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年4月から令和5年7月末までの期間に、5年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第5学年、義務教育学校前期課程第5学年、特別支援学校小学校部第5学年の原則として全児童
- ・野中小学校では、5年生 46名

3 調査内容

- ・児童に対する調査

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
小学校調査では、以下の種目を実施する。

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

- イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「児童質問紙調査」という。）を実施する。

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

野中小	学校	児童数	46
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	18.19	22.21	33.47	42.05	47.16	9.47	151.05	22.95	55.11
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	16.96	18.04	36.00	38.95	34.39	9.81	141.64	12.59	53.33
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

男子の体力合計点は、全国平均より2.52ポイント上回り、大阪市よりも3.98ポイント上回っている。種目別に見ても、大阪市の平均を全て上回り、長座体前屈、立ち幅跳び以外の種目は、全国平均を上回っている。女子の体力合計点は、大阪市の平均より0.66ポイント上回っているものの、全国平均より1.61ポイント下回っている。種目別に見ると、握力、反復横跳びは、大阪市や全国の平均を上回っているものの、長座体前屈、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げについては、大阪市及び全国平均を下回る結果であった。

「運動やスポーツをすることが好きですか」の質問には、男子では、肯定的回答の割合が100%であった。女子では、73.9%であり、大阪市、全国平均に比べ低い傾向にあった。1週間の総運動時間については、曜日ごとに見ると男女とも、大阪市や全国平均を上回っている日が多いが、1週間の総運動量時間が60分未満の児童の割合が男女とも若干高い傾向にあることが気がかりな点である。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度は、感染症の影響も少なくなり、本来の体育学習や、体育的行事も計画通り進めることができた。コロナ禍前の体育科の授業については、学習カードの工夫やICT機器の活用を中心に取り組みを進めたり、休み時間の充実や遊具の活用、全校集会を活用する取り組みなどを進めたりしてきたが、今年度は改めて体育的行事の見直しを図り、時期の変更や、内容の見直しを行った。今年度の児童質問紙で、肯定的回答が多かった体育科のICT機器の活用をより進め、効果的に活用することにより「できたり、わかったりすること」を増やすことで、体育科授業のさらなる充実を図っていきたい。また、今年度の5年男子のように、楽しみながら、進んで体育の学習に取り組めるような授業の工夫を行っていくことも大切である。楽しみながら体力や運動能力を高められるような取り組みを工夫していく。さらに体育の授業や行事の中で、児童自身が自己肯定感を高められるよう、できる喜び、認められる喜びを味わわせる取り組みも継続していく。

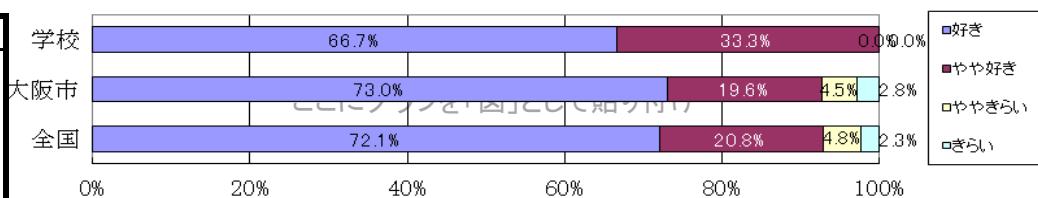
運動やスポーツについて（男子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

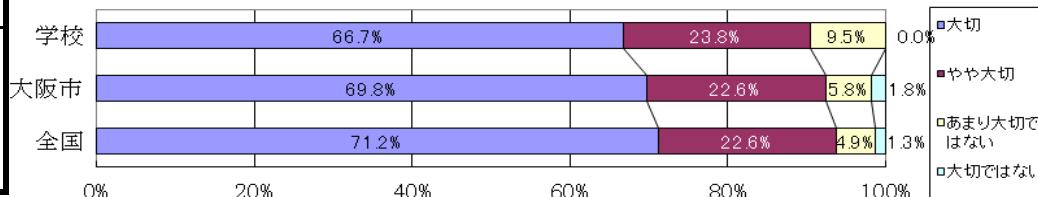
検証項目1

運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。



検証項目2

あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツは大切なものですか。



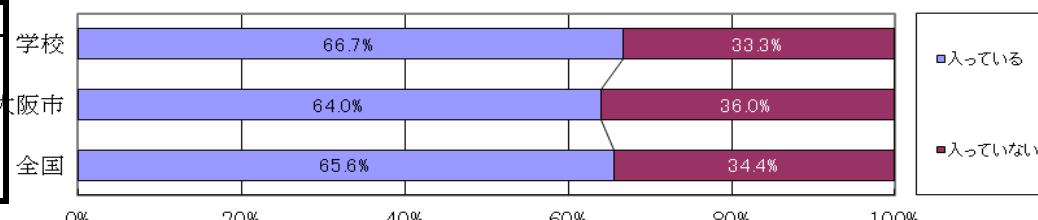
檢証項目3

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



檢証項目4

地域のスポーツクラブ
(スポーツ少年団や習い事
をふくみます) に入っていますか。



成果と課題

「運動やスポーツをすることが好きですか」の質問には、肯定的回答の割合が100%であり、運動に対して、好意的で意欲があることが、体力・運動能力調査で、全国や大阪市の平均を上回る結果につながっている大きな要因となっていると考えられる。

今後の取組

これからも、運動やスポーツが好きだと答えられるよう、楽しさを味わわせるための体育科の授業の工夫や、多様なスポーツを体験させる機会を設定していく。

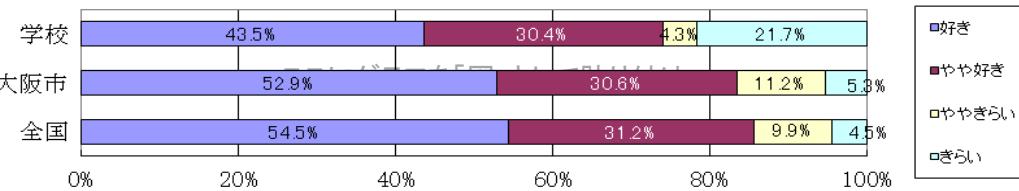
運動やスポーツについて（女子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

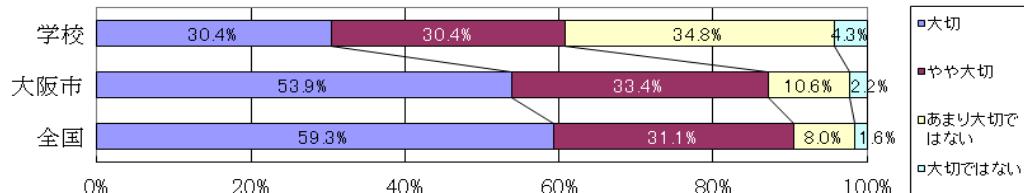
検証項目1

運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。



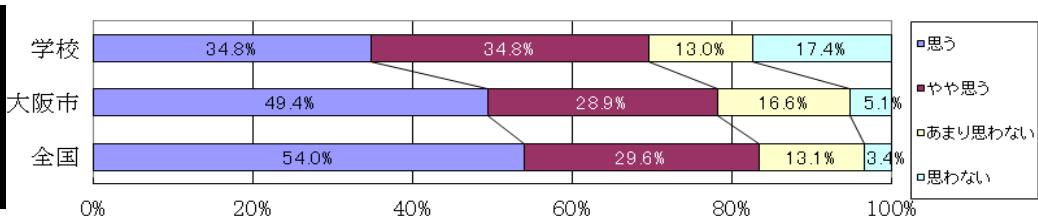
検証項目2

あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツは大切なものですか。



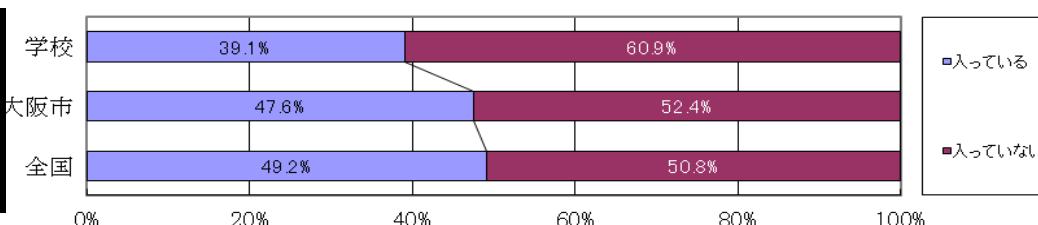
検証項目3

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



検証項目4

地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や習い事をふくみます）に入っていますか。



成果と課題

「運動やスポーツをすることが好きですか」の質問には、73.9%の女子児童が肯定的に回答しており、大阪市の平均より9.6%、全国の平均より11.8%低い結果であった。体力・運動能力調査では、全国や大阪市の平均を上回る結果であった種目もあるが、下回っているものもあり、運動に対する好感度が低いことが要因の一つであるとも考えられる。

今後の取組

運動やスポーツに進んで取り組んでいけるよう、楽しさや良さを体験させるような体育科の授業の工夫を行っていく。また、出前授業などの機会を利用して、多様なスポーツに触れる機会を設ける。

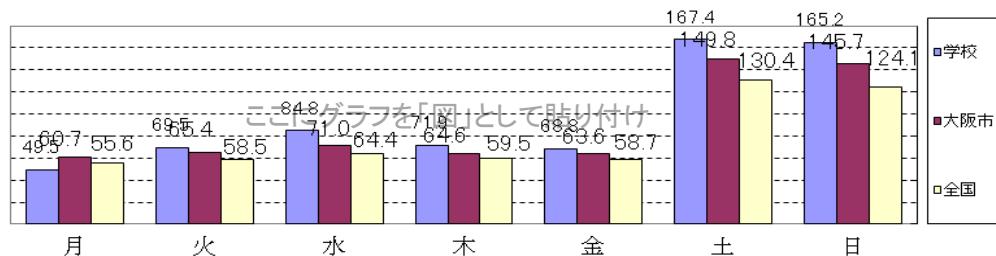
ふだんの生活について（男子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

検証項目1

ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。それぞれの曜日のらんに記入してください。



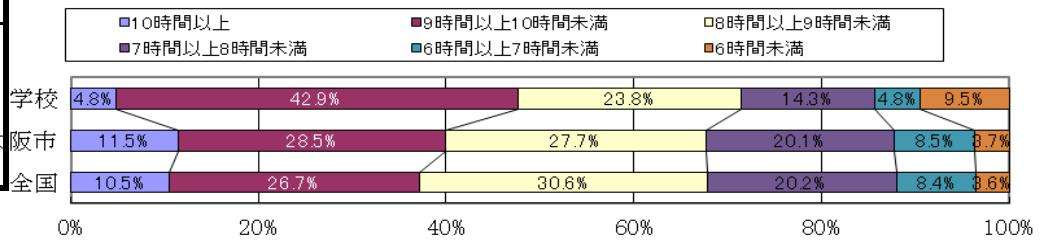
検証項目2

朝食は毎日食べますか。大阪市（学校が休みの日もふくめます）



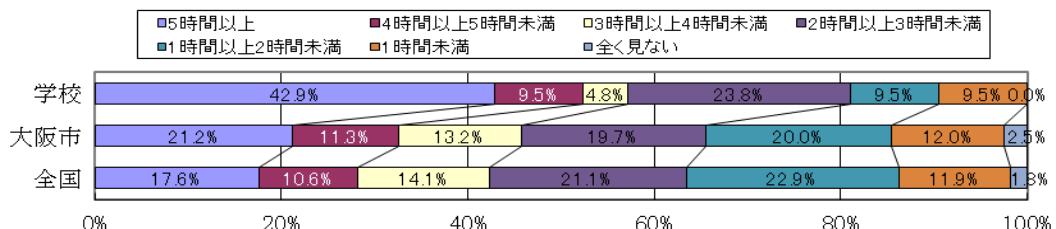
検証項目3

毎日どのくらいねていますか。



検証項目4

平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日どのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見てていますか。



成果と課題

1週間の総運動時間については、曜日ごとに見ると、大阪市や全国平均を上回っている日が多い。朝食を食べる児童の割合や睡眠を9時間以上とる児童の割合も良い結果であったが、学習以外で平日にテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見る時間を見ている児童の割合が多く、改善が望まれる。

今後の取組

今後も朝食や睡眠、運動などの大切さについての意識づけを継続して図りながら、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見る時間を減らそうとする意識を高める取り組みを行う必要がある。

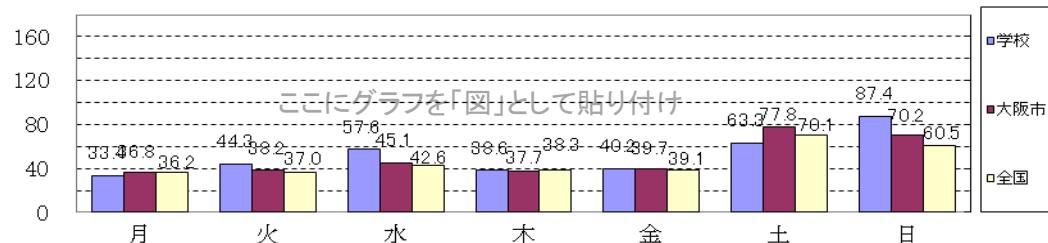
ふだんの生活について（女子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

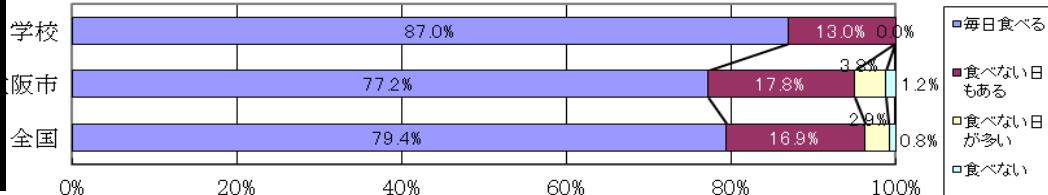
検証項目1

ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。それぞれの曜日のらんに記入してください。



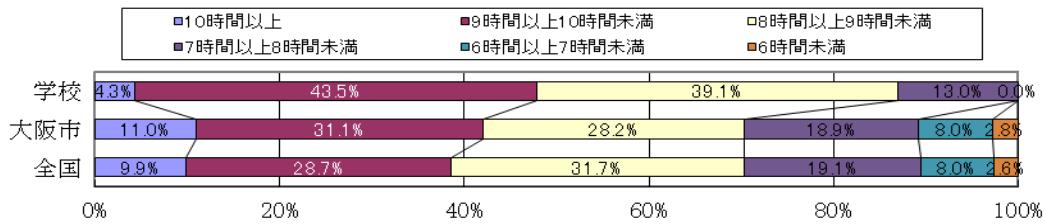
検証項目2

朝食は毎日食べますか。大阪市（学校が休みの日もふくめます）



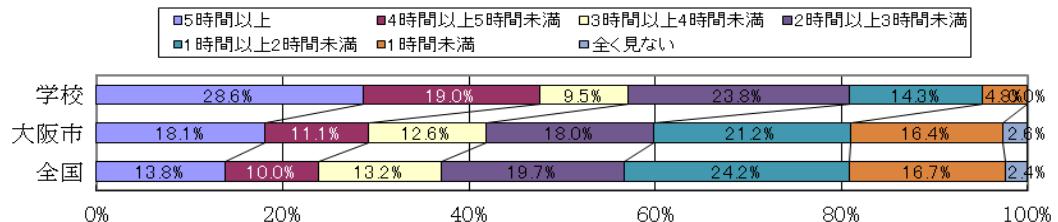
検証項目3

毎日どのくらいねていますか。



検証項目4

平日（月～金曜日）について聞きます。学習以外で、1日どのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見てていますか。



成果と課題

1週間の総運動時間については、曜日ごとに見ると、大阪市や全国平均を上回っている日も比較的多い。朝食を食べる児童の割合や睡眠を9時間以上とする児童の割合も良い結果であった。男子と同様に学習以外で平日にテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見る時間を見ている児童の割合が多く、改善が望まれる。

今後の取組

男子と同様に、今後も朝食や睡眠、運動などの大きさについての意識づけを継続して図りながら、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見る時間を減らそうとする意識を高める取り組みを行う必要がある。

体育の授業について(男子)

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

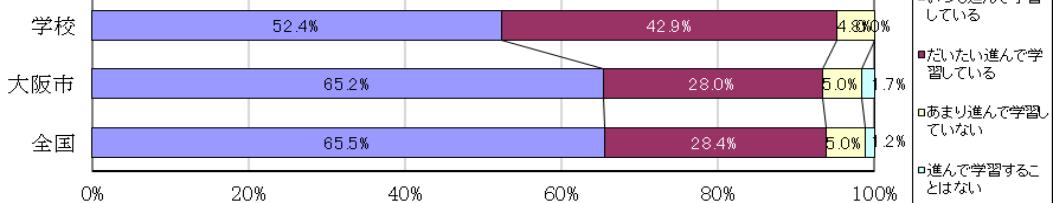
検証項目1

体育の授業は楽しいですか。



検証項目2

体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



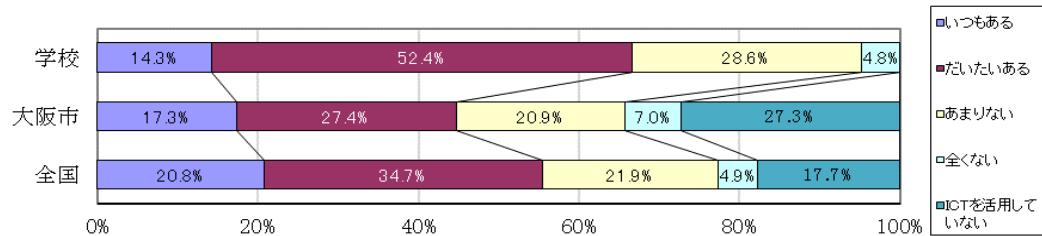
検証項目3

体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかつたり」することがありますか。



検証項目4

体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかつたり」することがありますか。



成果と課題

体育の授業に意欲的に取り組んでいる児童が多い。「体育の授業は楽しいですか。」の質問では、大阪市や全国の平均と比べ、1.5%程上回っている。さらに、否定的な回答が低いことからも、全体的に体育の授業に前向きに取り組んでいると考えられる。タブレットなどのICTを使っての学習では、できたり、わかつたりするという質問に対し、「いつもある」が大阪市や全国と比べて低いことから、ICTの活用方法が十分でない可能性がある。

今後の取組

体育の授業でのICTの活用方法を模索し、より効果的な活用方法を教職員全体に共有していく必要がある。また、どの場面でICTを活用しやすいかなどを教職員に周知し、活用頻度を向上させるとともに、児童のICTの活用に慣れさせていきたい。

体育の授業について(女子)

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

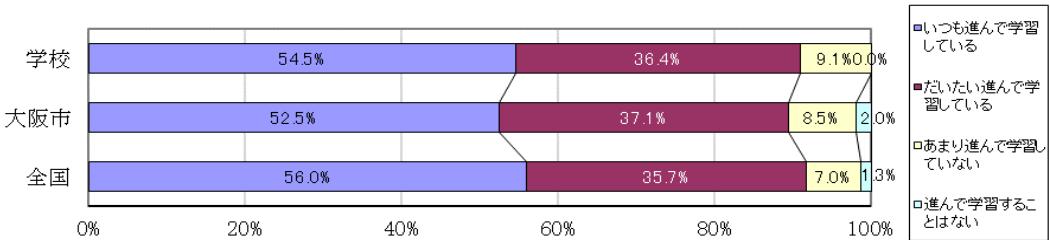
検証項目1

体育の授業は楽しいですか。



検証項目2

体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



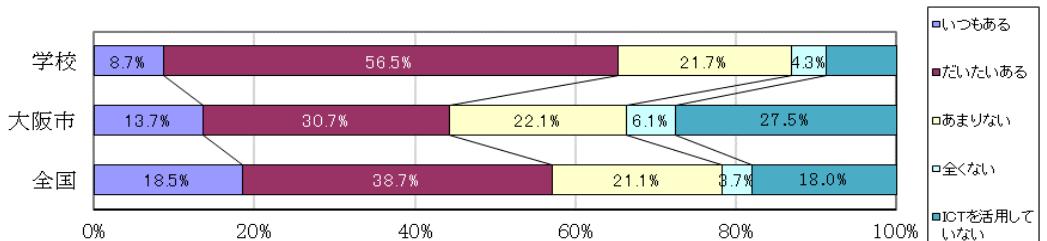
検証項目3

体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



検証項目4

体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



成果と課題

男子と比べ、女子は体育の授業に対する肯定的な回答が少なかった。さらに、「体育の授業は楽しいですか」の肯定的な回答は、大阪市と全国の平均より下回っている。体育の授業で、タブレットなどのICTの活用により「できたり、わかったり」するという回答が、全国や大阪市と比べても多い。しかしながら、否定的な意見や活用していないという回答が30%以上であり、ICTの活用頻度を増やしていかなければならぬ。

今後の取組

全国や大阪市と比べて、体育の授業に前向きでない児童が多いことから、体を動かす楽しさを改めて感じることが重要であると考える。スマールステップで、「できた」を味わわせるために、体育の授業における工夫を取り入れていき、教職員で共有する。あわせて、外部から送付された資料や動画などを教員に積極的に伝達する。また、ICTの活用方法の見直しや使用頻度を上げ、児童の有効的な活用につなげていく。

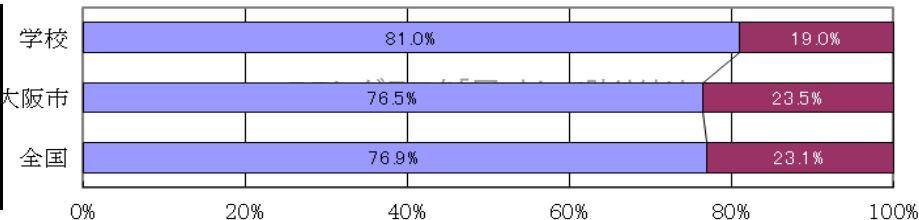
その他（男子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

検証項目1

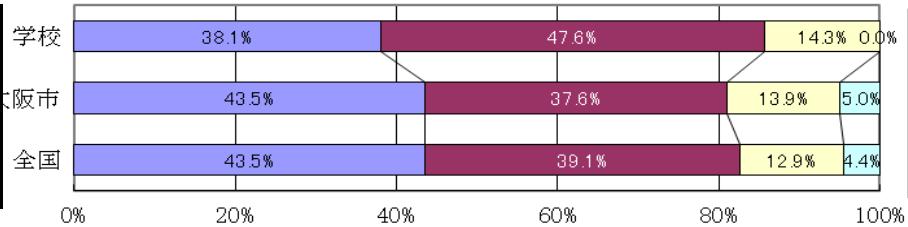
体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。



■目標を立てる
■目標を立てていない

検証項目2

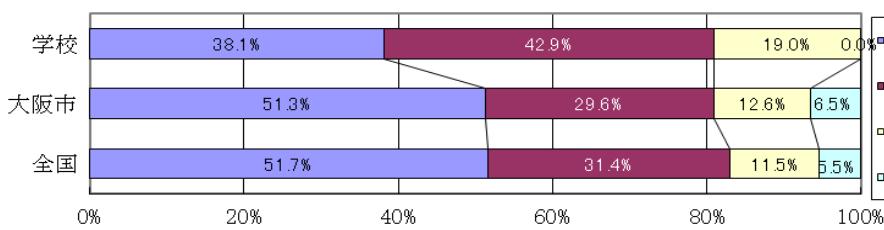
保健の授業で学習した運動、食事、休養およびすいみんに気をつけた生活を送っていると思いますか。



■思う
■やや思う
□あまり思わない
□思わない

検証項目3

保健を学習して、もっと運動しようと思いましたか。



■思うようになった
■やや思うようになった
□あまり思わなかった
□思わなかった

成果と課題

運動、食事、休養および睡眠に気をつけようと強く意識している児童が、大阪市や全国の平均を下回っている。否定的な回答は少なく、運動や食事、睡眠の大切さを理解しているが、進んで取り組もうとする児童が少ないと分析する。児童の意識を高めるためにも、日常的な取り組みが必要である。

今後の取組

学校全体で運動、食事、休養及び睡眠に関わる定期的なアンケートを取ったり、動画視聴で理解を深めたりして、児童の意識改革を図っていく。また、保健を学習した上で、運動への意識が低い児童が一定数いるため、対象である児童の原因を探っていく。

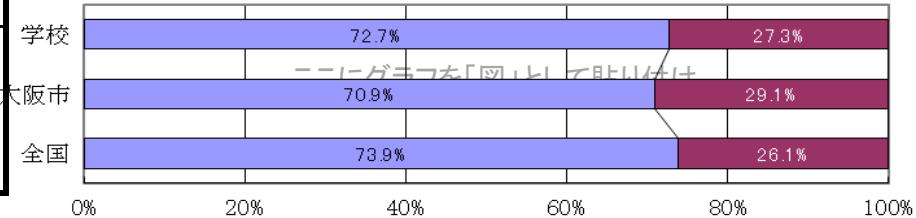
その他（女子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

検証項目1

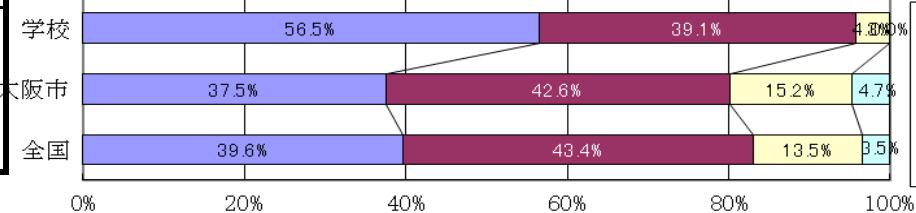
体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。



■目標を立てている
■目標を立てていない

検証項目2

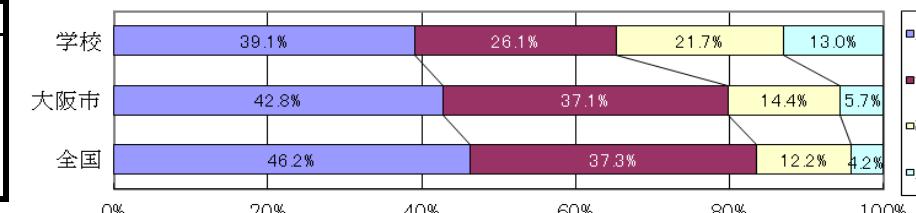
保健の授業で学習した運動、食事、休養およびすいみんに気をつけた生活を送っていると思いますか。



■思う
■やや思う
□あまり思わない
□思わない

検証項目3

保健を学習して、もっと運動しようと思いましたか。



■思うようになった
■やや思うようになった
□あまり思わなかった
□思わなかった

成果と課題

体力テストに向けて目標を立てたり、運動・食事・休養及び睡眠を気をつけようと考えたり、健康に対する意識の高さがみられる。しかしながら、進んで運動しようとする児童は65.2%であることから、運動の重要性を理解しているが、積極的に実践していくとする児童が少ないと考える。運動以上にやりたいことがあるということも踏まえて、分析していく。

今後の取組

進んで運動していくためにも、1日・1週間・1か月の過ごし方を簡単に見直し、運動と向き合う時間の確保を図る。また、進んで運動していく大切さを学年だより等で保護者に伝達し、学校生活以外でも運動に対する意識を高めていく。秋の体力テストに向けて、自分の強みと弱みを理解することで、どのような運動が必要なのか児童に考えさせていきたい。